



法務研究科 法科大学院

山崎 明日香さん

Q.取り組んでいる研究の紹介

ファッションローヤーになるべく、法科大学院では特に知的財産法と近接科目、及び環境法についての学びに力を入れています。

ファッションローヤーとは、ファッション業界における権利の対立や紛争を解決するスペシャリストのことを指す用語です。

ファッション業界における紛争で代表的なものは「デザインを盗まれた」というような知的財産権に関わるものですが、それ以外にも生産の段階における環境問題や労働問題など様々なものがあり、より横断的な学びが必要とされ、その中でも自分の強みとする問題で活躍する各種のローヤーが存在します。

その中でも、自身がファッション業界における諸問題に目を向けるきっかけとなった「ファストファッションブランドの知的財産権侵害」を発端として、「知的財産権の保護」及び同ブランドが抱えるもう一つの大きな問題としての「環境問題」について研究をしています。

Q.琉大で力を入れて取り組んでいること（学業以外も可）

琉球大学では「法務研究科（法科大学院）」に在籍しているため、一次的には権利保護や問題解決に携わる「法曹」となるために、法律科目の勉強に励んでいます。

さらに、研究科におけるハワイ大学のロースクールへの留学を活用して、ハワイにおける環境政策を学んだり、外務省本省でのインターンで、実際に外交を通じて立法や政策が運営されていく最前線に携わったりと、豊富な課外活動にも精力的に取り組んできました。

Q.研究の道（大学院）に進まれた理由・きっかけ

法科大学院に進んだきっかけは、弁護士になりたかったからです。

法曹になるためには、司法予備試験を経由するルートもありますが、私自身は、法科大学院で設計されたカリキュラムで着実に知識を身につけた上で法曹になるという方法が向いていると思い、法科大学院への進学を決めました。

また、既に述べているように、法曹になるまでに必要だと思う学び（課外活動など）を横断的に行えることも魅力の一つであると思っており、大学院生という身分であるからこそ行える活動や研究を行うべく、進学を決めました。

Q.大学院進学を検討している後輩へのアドバイス

ネームバリューに惑わされずに「自分がしたい勉強」、「身を置きたい環境」など、人生の2年または3年をどのように使って、どのような将来を実現させたいかをしっかり念頭に置いて大学院を選択したり、調べたりすることをおすすめします。

実際に私が琉大を選ぶ時に念頭に置いたことは、上記でした。

そしてこの選択は最善だったと思っています。

また、大学生のうちにしといておいた方がいいと思う事という観点では、たくさん大人に会っておくことです。

難しいように思うかもしれませんが、学生という身分は無敵大です。大学院進学についての相談でも、師事してみたい教授でも、リサーチの一環だと思って会いに行きましょう。

理由としては、大学院生は意外と忙しいという消極的な理由に加えて、大学院進学を検討中（迷っている）なら、自分がなりたい大人のキャリアパスを参考に進学の可否を検討でき、その結果、最初に述べた「自分がしたい勉強」等が明確になることにつながるからです！

Q.海外留学しようと思った理由・きっかけ

これまでに短期も含めて3度の海外留学を経験しました。

1度目は、価値観を広げたいと思ったことがきっかけで異文化交流をメインとしたもので、2度目は人との交流を目的にした語学留学でした。

そして大学院で行った留学のきっかけは、ファッションローヤーを志すなかで、ファッション業界の紛争は、国内にとどまらず、海外を相手方としたものも多く、渉外紛争の解決に興味があったことです。

またファッションローの中でも環境法という科目に着目し、ハワイは環境政策がすすんだ地域であることから、先進的な環境政策やその運営を学べると思ったからです。

さらに、環境法における学びの中で、身近な環境問題への問題意識が自然と芽生えていたところ、ハワイと沖縄は地理的・環境的条件が非常に似ていることに気づき、沖縄の環境問題への働きかけにハワイでの環境法の学びが生きるのではないかと思ったからです。

Q.海外留学を検討している後輩へのアドバイス

・留学の目的に応じた準備を日本国内でできるだけしておくこと

→留学先では限られた時間を最大限に活用して欲しいからです。

・留学の目的、留学するか否かは自分で決めましょう。

→みんながしているから、という焦りや流れで留学を決めると、多分挫折します。

・ホームシックになっても家族に電話しない

→ホームシックが加速します（経験済み）（電話された家族も辛くて迎えに行きたくなるそうです）。「ホームシックが辛いよー」と泣きつける現地の友人を早期に作って、英語力も向上させましょう！時間は有限です。

・to do リストを作って帰国までに絶対実現する

→留学に限らないかもしれませんが、毎日が充実します。

Q.琉大の後輩におすすめの図書・雑誌

・『NANA』矢沢あい

・『Paradise Kiss』矢沢あい

・『ココシャネルの言葉』山口路子

・『武士道』新渡戸稲造

・『賢人の知恵』バルタザール・グラシアン

・『ニーチェの言葉』

フリードリヒ・ニーチェ著 白取春彦訳

・『限りなく透明に近いブルー』村上龍

・『本日は、お日柄もよく』原田マハ